

# D.A.Consortium

holdings

**D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社**

## **第1期 株主説明会**

2017年6月27日

### <会社名略称>

DACHD : D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社

DAC : デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社

アイレップ : 株式会社アイレップ

※当社の設立は2016年10月ですが、

2017年3月期は2016年4月～2017年3月を決算期とし、2016年9月までの実績はDAC連結実績（アイレップ連結を含む）で集計しております。

# 目次

---

- 企業情報
- 決算概況
- 2018年3月期方針

# 企業情報

---

# 沿革

1996	12月	DAC	DAC設立
1997	11月	IREP	アイレップ設立（前身の(株)アスパイア設立）
2001	7月	DAC	DAC上場（現 JASDAQ）
2006	11月	IREP	アイレップ上場（現 JASDAQ）
2007	12月	DAC IREP	合併会社(株)レリバンシー・プラス設立
2009	6月	DAC	アイレップを持分法適用関連会社化
2010	12月	DAC	アイレップを連結子会社化
2014	9月	IREP	アイレップ東証二部へ市場変更
2016	10月	DACHD	D.A.コンソーシアムホールディングス設立 東証二部に上場

# 概要

社名	D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社
設立	2016年10月3日
資本金	40億円
連結 従業員数	2,103名（2017年3月末現在）
所在地	東京都渋谷区恵比寿 恵比寿ガーデンプレイス
上場市場	東京証券取引所市場第二部（証券コード：6534）

# 出席役員のご紹介

氏名	役職名
島田 雅也	代表取締役社長 DAC代表取締役社長CEO
徳久 昭彦	専務取締役 DAC専務取締役CMO
大塔 達也	専務取締役 DAC専務取締役CFO
紺野 俊介	取締役 アイレップ代表取締役社長CEO DAC取締役

## 主要株主（機関投資家は除く）

（2017年3月末現在）

株主名	議決権比率
株式会社博報堂 D Y メディアパートナーズ	42.98%
株式会社博報堂	7.71%
株式会社東急エージェンシー	1.71%
株式会社日本経済社	0.34%
株式会社テレビ朝日ホールディングス	0.25%
日本テレビ放送網株式会社	0.25%
株式会社東京放送ホールディングス	0.25%
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	0.25%
株式会社テレビ東京	0.12%
株式会社日本経済新聞社	0.12%

# D.A.コンソーシアムホールディングスの事業領域

グループ戦略統括

D.A.Consortium **holdings**

D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社

東証第二部上場

インターネット  
関連事業

パートナービジネス

<DACグループ>



クライアントビジネス

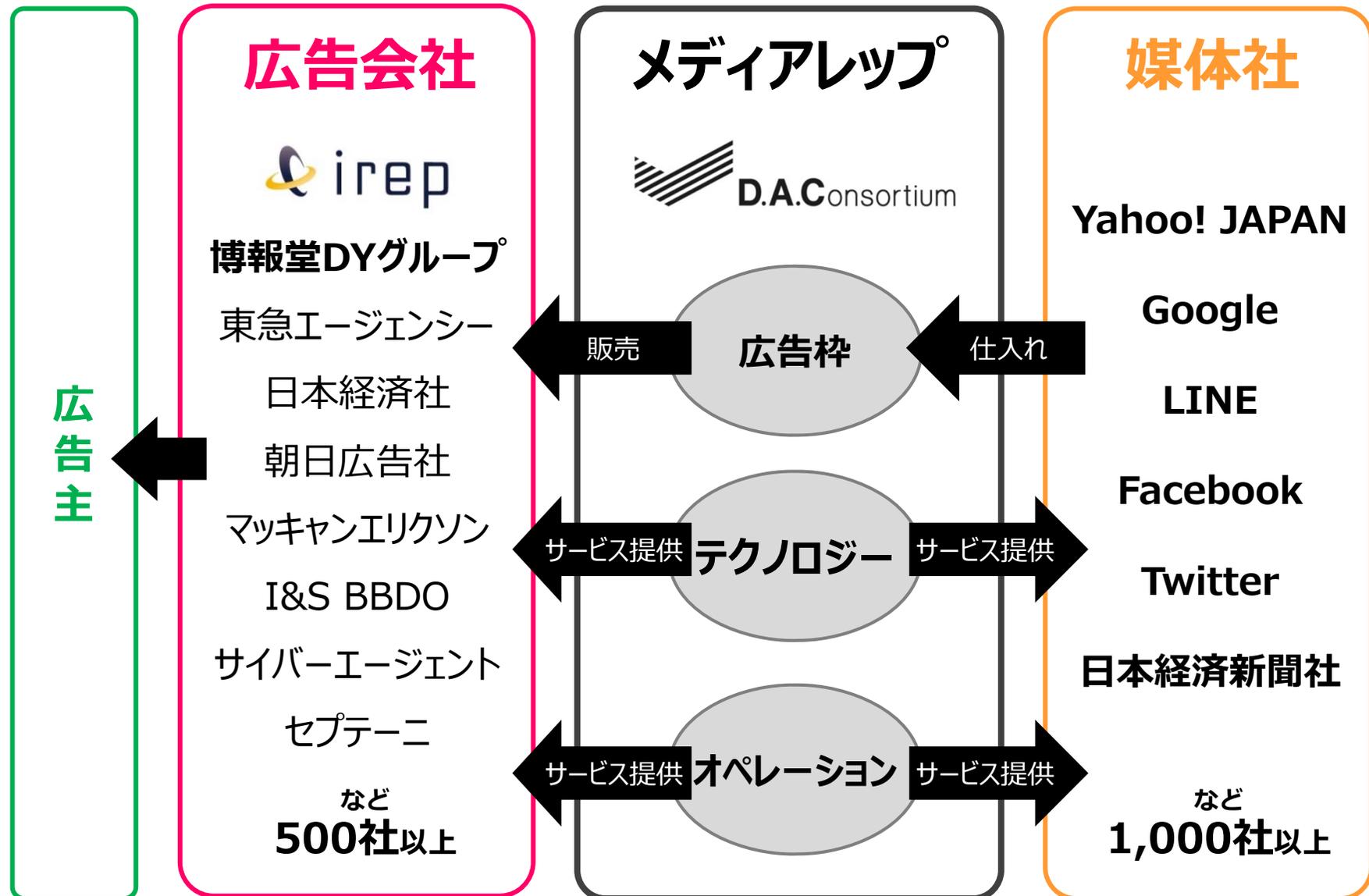
<アイレップグループ>



投資事業



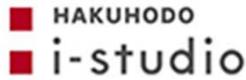
# インターネット関連事業について



# グループ会社一覧

## DACグループ

 **D.A.C Consortium** デジタル・アドバタイジング・  
コンソーシアム(株)

<p>ユナイテッド</p> 	<p>博報堂アイ・スタジオ</p> 	<p>プラットフォーム・ワン</p> 
<p>アド・プロ</p> 	<p>トーチライト</p> 	<p>北京DAC</p> 
<p>台湾DAC</p> 	<p>DACアジア</p> 	<p>I-DAC</p> 
<p>Yengage Corporation</p> 	<p>DAC Tech Vietnam</p> 	

## アイレップグループ

 **irep** (株)アイレップ

<p>ロカリオ</p> 	<p>シンクス</p> 
<p>NEWSY</p> 	<p>DIGITAL MARKETING INDONESIA</p> 
<p>MOORE ONLINE DEVELOPMENT SOLUTIONS CORPORATION</p> 	<p>北京アイレップ</p>  <p>IREP BEIJING CO.,LTD</p>

# グループ会社の主な取り組み

---



- 高い技術力が認められ、2件の特許を取得
- LINE(株)より「プラチナパートナー」に認定



- Yahoo! Japanより最高評価「ダイヤモンド」に認定



- ネイティブソーシャルゲーム「クラッシュフィーバー」が世界で800万ダウンロード達成

**Global  
展開**

- 台湾DAC（台湾）
- Yengage Corporation（米国）
- DAC Tech Vietnam（ベトナム）

# 決算概況

---

# 第1期（2017年3月期）業績

(百万円)

	第1期（2017年3月期）	
		前年同期比
売上高	184,779	127.5%
売上総利益	26,409	128.5%
営業利益	6,928	136.9%
経常利益	3,728	75.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	209	10.3%

## 第2期（2018年3月期）業績予想

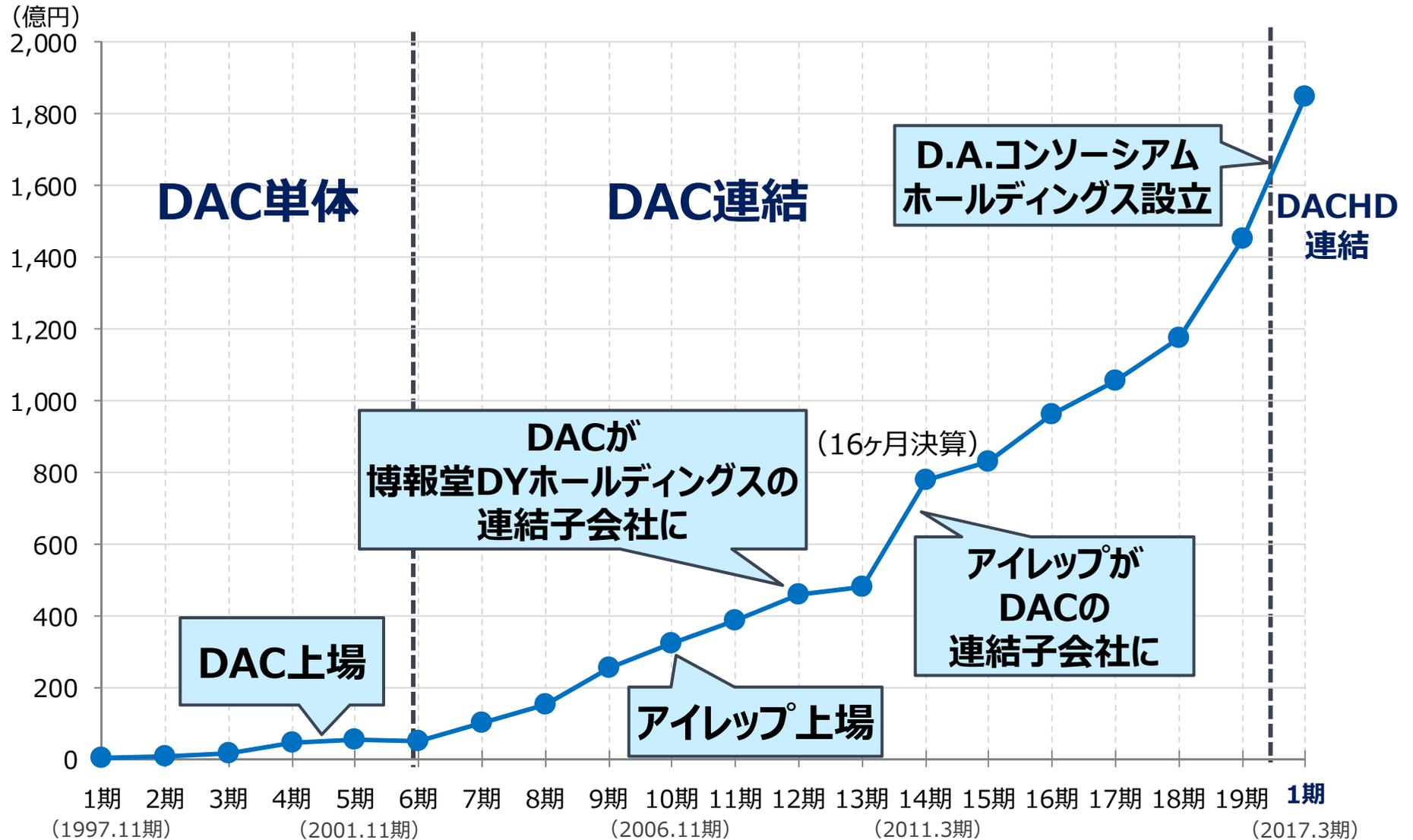
(百万円)

	第2期（2018年3月期）	
		前年同期比
売上高	205,000	110.9%
営業利益	7,200	103.9%
経常利益	7,200	193.1%
親会社株式に帰属する 当期純利益	3,800	18.1倍

# 2018年3月期方針

---

# DAC設立時からの売上推移



従業員数

4名

30名

50名

100名

300名

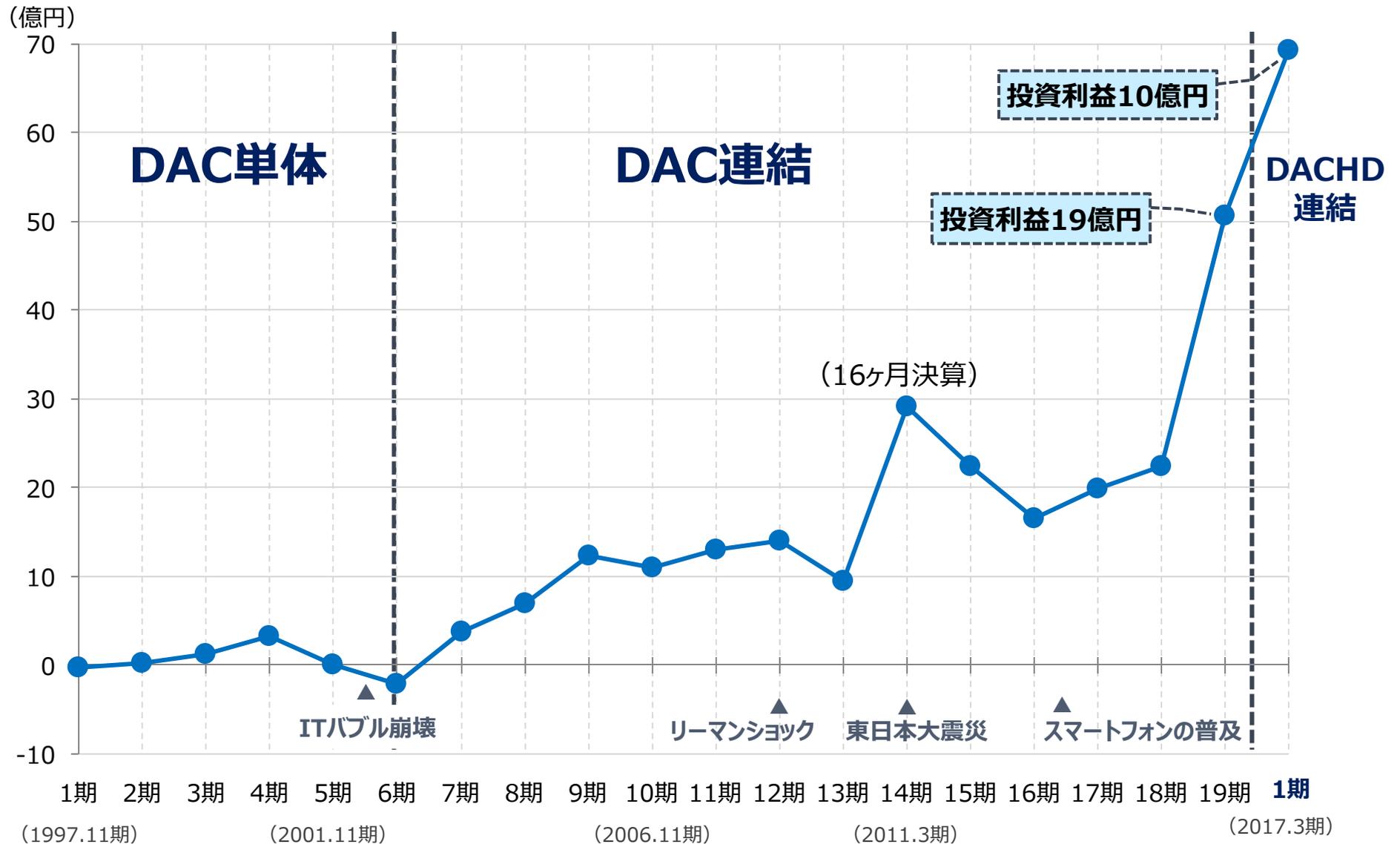
500名

1000名

1500名

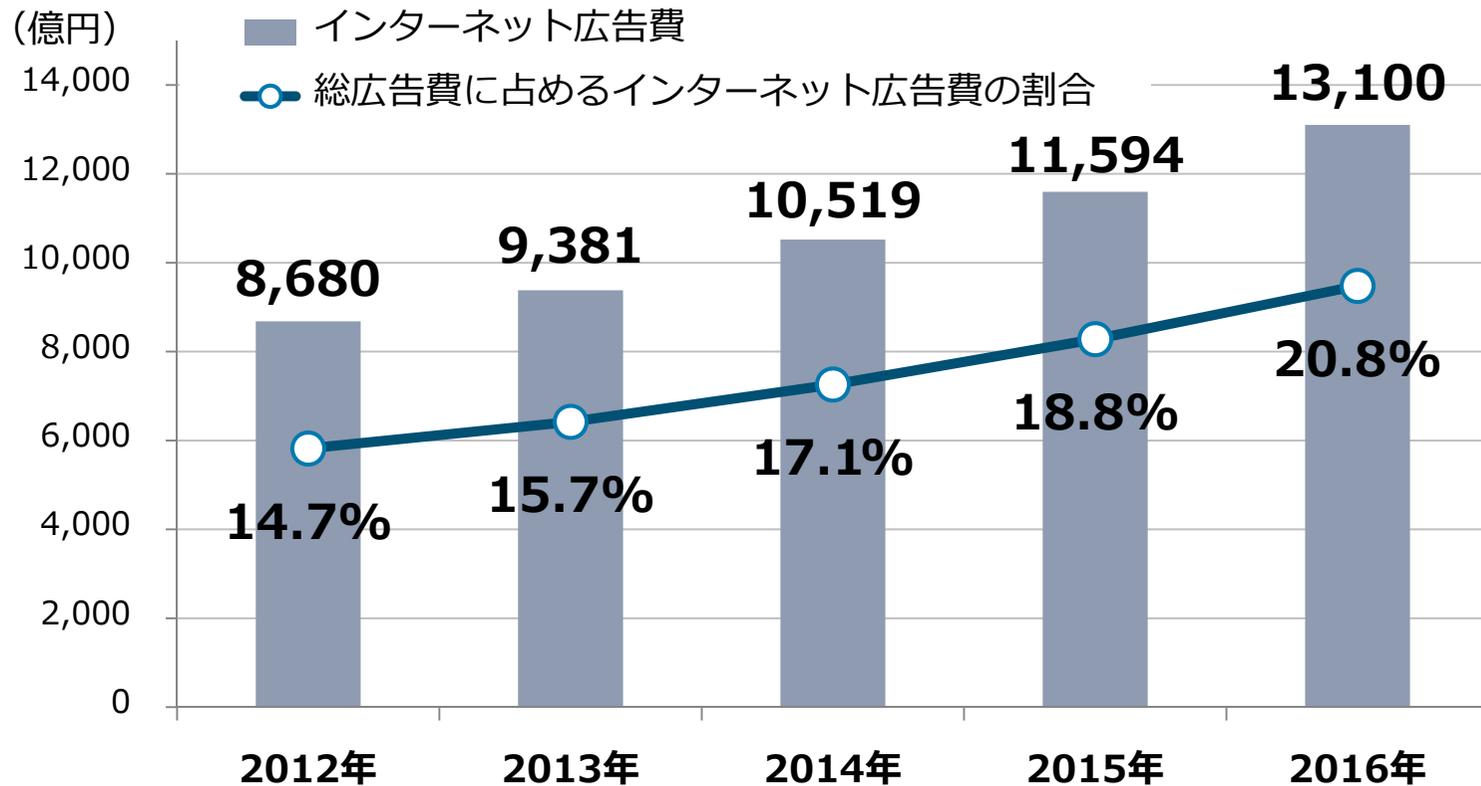
2,103名

# DAC設立時からの営業利益推移



# インターネット広告市場概況

インターネット広告費は1兆3,100億円となり、  
総広告費の20.8%を占める規模に



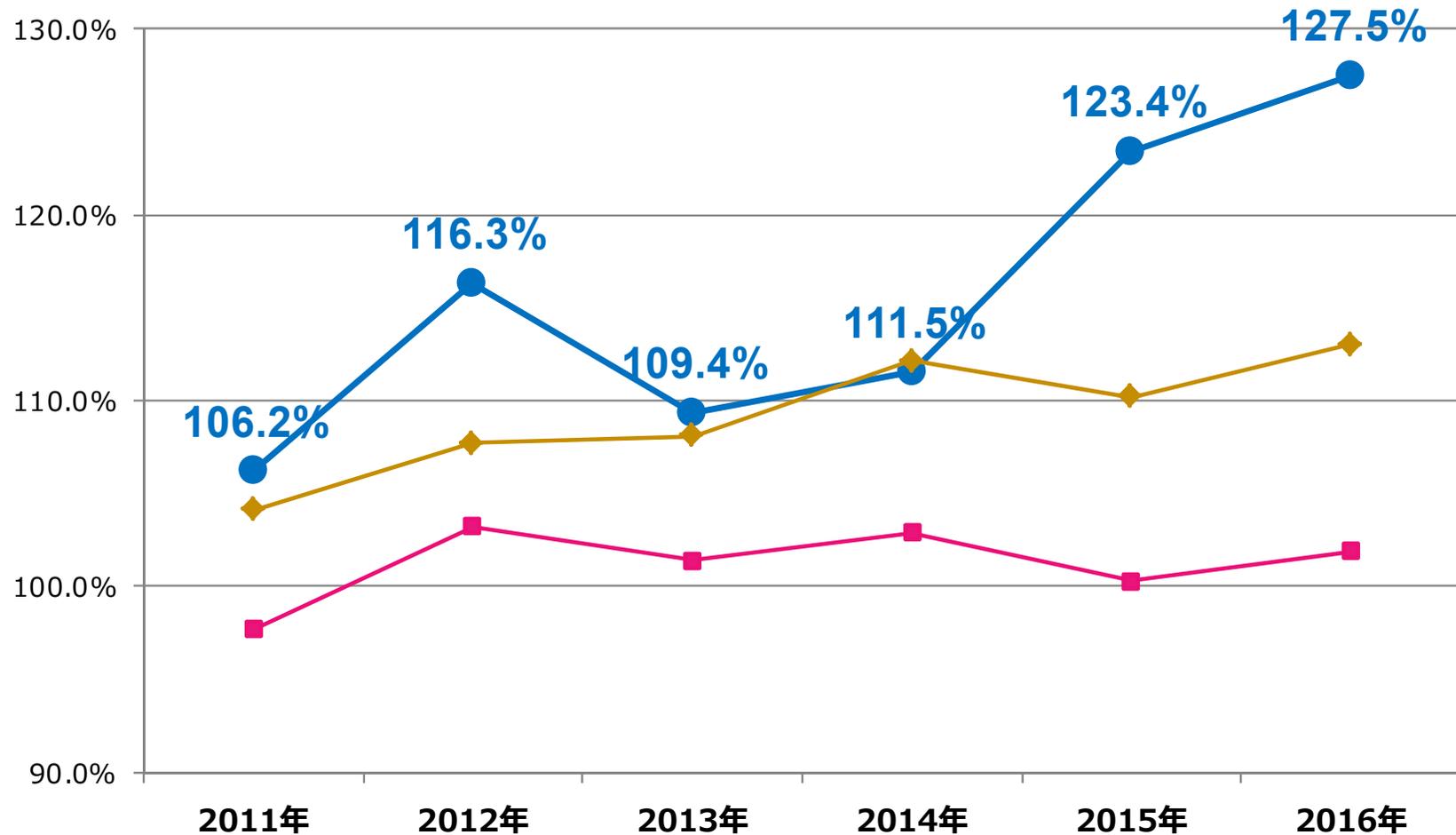
あらゆるメディアのデジタル化により、  
DACHDグループのビジネス範囲は広告市場全体へ

# 市場成長との比較

## 当社成長率は市場成長を上回って推移

<前年比推移>

● 当社    ◆ インターネット広告費    ■ 総広告費



出所：電通「日本の広告費」

# 当社グループを取り巻く環境

---

## 市場

世界的なスマートデバイスの普及やビッグデータの利活用による広告市場の拡大

## プレイヤー

国内外問わず多様な業種からの新規参入等による競争の激化

## 技術

IoT(Internet of Things)やAI(人工知能)を活用した新たな事業機会の広がり

# 経営統合のねらい

---

## 1. グループ経営資源の効率的活用

- ・ 共通機能の統合により効率性を高め、成長分野に経営資源を集中
- ・ R&D、グローバル等は持株会社主導でグループ共通基盤を強化

## 2. 株主価値の最大化

- ・ グループシナジー効果の実現と、新たな成長領域の創出により、株主価値を最大化

## 3. グループ戦略機能の強化

- ・ 持株会社はグループの経営戦略機能に特化
- ・ 各事業会社はそれぞれの専門事業を推進し、成長を加速



**市場の変化に迅速に対応できるグループ体制を構築**

# 2018年3月期方針

---

## ✓ 既存領域の競争力強化

- パートナー事業（DAC）と クライアント事業（アイレップ）のスキルセットを再構成し、各事業分野を明確化

## ✓ 効率化に向けた積極的な取り組み

- 人員の採用拡大、事務所再構成で一時的にコスト増加
- 業務フローの最適化や各種テクノロジーの活用による効率化を実現

## ✓ 成長分野への投資

- データドリブンマーケティング
- ブランドマーケティング
- グローバル

# 当社グループの成長戦略



- データドリブンマーケティング
- ブランドマーケティング
- グローバル

# D.A.Consortium

holdings

D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社

## 第1期 株主説明会

2017年6月27日

IRニュースメール配信サービスの  
ご登録はこちら

<https://www.dac-holdings.co.jp/irmail>